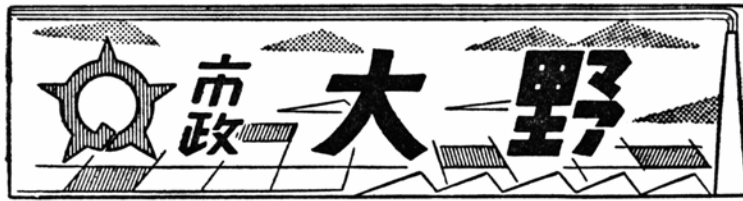


発行  
福井県大野市天神町1番1号  
大野市役所  
(企画室広報係)  
電話(代) 6-1111  
郵便番号 912  
印刷 松浦印刷所



8月の人口の動き		
出生	男 20	女 21 計 41
死亡	〃 13	〃 17 〃 30
転入	〃 54	〃 56 〃 110
転出	〃 51	〃 53 〃 104
世帯数	9.928	
人口	43.165	
男	20.691	女 22.474



着心が強く感ぜられました。

そのかたわらでシーズを楽しむ幼児の無邪気な姿も、これらお年寄りの姿とともに胸をうつものがありました。

### 郷愁をそそる扇踊り

報告式の後、同校講堂で別れの杯をくみかわし、数々の思い出話を花を咲かせ最後に同地に古くから伝えられ、県の無形文化財に指定されている扇踊りに尽きぬ名残りを惜しみました。

七月くれば雲でさい下アる

おれも行こじゃ親里へ ホイホイ  
踊るも舞うも今夜限り

あしたは山のしおれ草 ホイホイ

毎年旧盆の15日にぎやかに踊った扇踊りも、その歌詞のごとく郷土で踊るも舞うもきょう限り、この日の踊りは、ひときわ寂しく郷愁を感じさせました。

### ことし中に全世帯が移住

真名川防災ダムの水没補償交渉は、前

例のないほど早く妥結し、秋の訪れとともに移住が本格化し、ことし中には全世帯が移住します。

上・下若生子の移住先は、大野市内へ44世帯、県内15世帯、県外4世帯の予定になっています。

明治8年3月30日に創立した若生子小学校もことし中に廃校となる予定

です。現在、男8、女1、計9人の児童が、岩田繁太郎校長ほか2人の先生の指導でこの学校での最後の生活をおくっています。

写真上は扇踊りを踊る若生子の人たち

## 湖底に沈む上・下若生子

### 報告式で永遠の別れ

昭和40年9月14日、一昼夜にして1047ミリという記録的な豪雨にみまわれ、真名川のはんらんと山くずれで、西谷村とともに大災害を受けた上・下若生子は、その後真名川防災ダムの建設が決まり、永遠に湖底に沈むこととなりました。

8月20日若生子小学校において報告式が行なわれ、地元民およそ200名と寺島市長・高田市議会議長、伊集院真名川ダム工事事務所長・武田近畿地建用地部長・県代表者ら来賓40余名が出席して、800余年続いた歴史の終末を惜しみながら上若生子・下若生子部落の終りを告げました。

### あいさつに涙ぐむ老人

報告式では始めに全員で国歌を斉唱住民を代表して石田善徳若生子水没対策協議会会長が、遠い祖先からの歴史をふり返り、「若生子在住中のみなさん方のご援助に感謝する、住みなれたこの土地を後に全員移住することになるが、新しい地でも互いに助け合い精いっぱいがんばりたい。今後も変らぬご指導をお願いしたい」と感謝と力強い決意あふれる式辞を述べました。

続いて市長は「長い歴史の若生子がなくなることは誠に寂しい限りです。移住

されても祖先から受け継がれた不屈の精神をもって活躍されるようお祈りします。」とあいさつしました。

お年寄りの方は、これを聞きながら、大雪や風水害のきびしく苦しかった生活や、部落民一同が道場に集まって語り合った楽しい生活など、若生子におけるいろんな思い出がよみ返ってか、目頭を押さえる人、黙ってうつむいたままの人、限りない部落に対する愛



式辞を述べる石田水没協議会会長

# これ以上起こすまい 交通事故非常事態を宣言

大野市交通対策協議会主催の第4回大野市民交通安全大会は、農協・各学校・北電・婦人会など37の事業所や団体からおよそ200名が参加して、8月16日午前9時より大野高校校庭で行なわれました。

市長や山口県警交通部長のあいさつがあって、遺族の悲しみの声をテープで聞き、交通事故犠牲者に対して「もくとう、をささげました」最後に、これ以上事故を起こしてはならないと、この大会の名のもとに交通事故の非常宣言を行ないました。

## ～宣言文～

自動車台数の増加により、交通事故が激増し、特に大野市は最近の事故発生件数から見てまさに交通事故非常事態にあるといわなければならない。

交通事故は天災にあらず人災である。市民の力を結集すれば必ず防止できるものである。



宣言する桑野市市長

我々は交通事故絶滅を達成するため、この非常の事態に処し、すべての市民がおのおの立場において最善の努力をしようという同一の注意を喚起するため、ここに交通事故非常事態を宣言する。右宣言する。 昭和44年8月16日

スマイル

9月1日

忘災の日ではない

—防災の日

コーナー

## 若生子の歴史

若生子は上古の御名代(みなしろ)であると伝えられている。足羽社記に 若子 倭香典

今言 倭許具稚子媛之御名代也」と記してある。

御名代は皇室の直接の親属民であり若生子は、大若子命の御名代であって皇族大若子命の若子を冠したものであると伝えられている。

その後の歴史も明らかではないが1571年(元龜2年)に上若生子の次郎松が鉾山を発見したとの記事もあり、この頃には集落があったものと推測され、廃藩置縣に至るまでは、大野藩に属していた。

上若生子は広い仙翁の谷あいを活用し、養蚕・製紙・木炭・若生茶を産していた。また、字大野間谷には精錬所があり、明治45年1月より操業した。

明治8年、若生子小学校が創立され、同35年の児童数は男30、女35、計65人で先生は2人であった。

明治45年6月30日現在の世帯数と人口は、上若生子61戸、323人。下若生子28戸、168人の記録もあり、その後次第に減少した。

この地は風水害や豪雪とたび重なる災害に見まわられたが、忍耐と努力でこれを克服、苦しみ堪え、雄々しく今日の生活を築いてきた。

昭和40年9月、台風23号による風水害で真名川流域の歴史を一大転換させる被害があった。

下若生子では12戸が流失、1名の尊い犠牲者を出した。

国では再びこのような災害を繰り返さないため、真名川防災ダムを建設することになり、ここに上・下若生子部落の全世帯が永遠に湖底に沈むこととなった。

## 大野市と美山町を結ぶ

上黒谷を起点として峠越して美山町河内を結ぶ黒谷―河内林道約10kmの開設工事が始まりました。

8月18日、上黒谷において起式を行ない大野市長・美山町長・県林務課長と地元民らおよそ70名が出席して着工を喜び合うとともに、工事の安全と計画の完遂を祈りました。

この林道は、大野市側が5,700m、総事業費約6,000万円をかけた4カ年計画です。

このうち本年度の、事業費は1,500万円で、幅員3.6m、長さ1kmを施工し、11月末完成の予定です。

来年度からは美山町側も工事がすすめられ、昭和47年度には貫通、完成する見込みです。これが完成すると、大野市と美山町との広域行政に、また関係面積500haにおよぶ山林資源の開発、林産物の運搬に大きな効果があります。



起工式のひとこま

## 黒谷―河内林道を開設

### 税の知識

国民健康保険の被保険者に異動があった場合、国民健康保険の納税義務はどうなりますか。 いわゆるつとめ人で、国民健康保険以外の医療保険に加入または脱退した場合に限って、国民健康保険の月割で計算し課税または減額します。 このため被保険者の資格に異動があった場合は、すみやかに市役所市民課の窓口で届出をしなければなりません。 健康保険等医療保険の加入脱退については、本人の届出がなければなりません。 国民健康保険の届出があるままで脱退された場合は、さかのぼって一時に多額の賦課をされることとなります。

## にぎわった城まつり

第2回の「おのの城まつり」は8月15、16日も晴天に恵まれ、市民あげてのまつりにふさわしいにぎわいを見せました。 15日金森長近公銅像前での式典で幕開きをし、市長は、「長近公の偉業をしのび新しいまちづくりに精進したい」

と式辞を述べました。 2日間計画どおりに楽しい行事がくり広げられ、第2回の城まつりも数々の思い出を残して、好評のうちに終了しました。



1



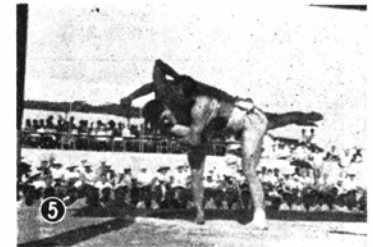
2



3



4



5

### 写真説明

- カーニバルに出陣した武者行列の一行60名
- チビッコのど自慢 開演前に市民会館大ホールの会場はすでに超満員になる盛況さ。
- ことし初めての交通安全ファミリーラリー。34台が参加。
- 静かなムードの茶会 いずれもみごとなお手並み、会場は朝顔社。
- 第1回城まつり記念相撲大会 地元選手をはじめ、関大・近大相撲部、石川県の選手も参加した。

### ◆富田青年の美しいつとめ◆

8月10日富田公民館で同地区内の青年男女40名が参加して青年のつとめを開成対抗ゲームや抽選会等のレクリエーション、「私の選びたい人」のテーマで話し合い、食事もみんなでつくったり、夜にはキャンドルサービスをやって、日頃集ることのなかった青年が大いに友情を深めた。

### ◆水泳教室開く◆

泳力テストを兼ねた水泳教室が8月13日有終中プールで開かれた。有西・有南上庄・下庄小学校から70人の児童が参加し水泳協会から泳ぎ方の基本を習ったあと、50m、100mの自由形と平泳ぎの泳力テストがあり、記録に応じて1〜3級の記録証が全員に渡された。

### ◆角木君ガンバレ◆

下庄中学校1年の角木信幸君(西新在家)が角界入り、横綱大鵬関のいる二所の関部屋へ入門することになった。

おかあさんの話では「小学校入学の時



市長の励ましを受ける角木君

に6年生用の制服でもまだ窮屈だった」とのこと。現在、身長162cm、体重94kg 21日の出発を前にして市長室を訪れ「大鵬関が大好きです。一生懸命がんばりま

す」と話していた。

### ◆若越大会で相撲優勝◆

第23回若越青年大会は、8月9・10日の2日間福井運動公園で開催された。大野市青年団は相撲で優勝、女子バレー3位とよく健闘し、総合4位となった。優勝した相撲選手団(藤岡清美・藤岡行雄・宮崎義勝・松田一・中兼龍雄)は11月に国立競技場で開かれる日本青年大会に県代表として出場する。

### ◆山の子と海の子が文通◆

阪谷小学校でこのほど郵便教室を開成阪谷郵便局員から「あて先は確実に、郵便番号も住所のうちにですよ」と親切な指導を受け、6年生37名が同局からもらった横線ハガキに大野市の特徴や学校のようすを書いて、海のある三方町明倫小学校の友達に便りを出した。



9月・10月の台風の長期予報は次のとおりです。

今後も台風情報をよく聞いて被害を最少限にいく止めましょう。

◎ 9月は中旬と下旬にそれぞれ1個本土に接近、または上陸する恐れが

あり、ことしは大型のものが襲来する恐れがあります。

◎ 10月は台風の上陸はなさそうですが本邦の南岸を通る台風が1~2個ある見込みで、多少の影響を受けるようです。(大野気象通報所)

**国保**

今月から  
育児手当を支給

ことしの4月1日以後に生まれ、国民健康保険に加入している赤ちゃんにミルク代のたしと育児手当が支給されます。支給額は月 200円、期間は6カ月間。生まれてから6カ月経過した月に、まとめて1,200円お渡します。したがって9月に支給するのは本年4月中に生まれた赤ちゃんが対象となります。今後これらの該当者には市民課より通知します。

助産費も1万円に

国民健康保険では、保険に加入している産婦が出産した時、今まで2,000円の助産給付金を支給していましたが、9月からは大幅に引き上げ、1万円支給することになりました。対象となるのは、9月1日以後に出産された方です。

支給方法はこれまでと同様。市民課で出生届をされる時に、国民健康保険証と印鑑をご持参ください。

秋の健康を守ろう

1.好ききらいなくなんでも食べよう。

たべものを好ききらいすると、いろいろな栄養欠陥が生じます。

2.からだや労働に適した食事をとろう。  
市街地と農村部ではまだ体位の差があります。からだや労働の程度に適した食事をとって健康体をつくりましょう

3.家族そろって健康診断を受けよう。  
9月24日から「結核予防週間」が始まります。保健所や市役所の呼びかけにすすんで参加し、家族そろって健康診断を受け、自分の健康状態を確かめよう。

4.食中毒をなくしよう。  
食中毒の最も多い時期です。清潔で信用のある店から新鮮なものを求め、生ものを食べることはできるだけ避けましょう。特に調理の際は必ずよく手を洗いましょう。

山林の火入れには許可を

山林や原野などで火入れをする場合には、森林法で市長の許可を受け、その指示に従わなければならないことになっています。

申請は、市林務課・各森林組合にある所定の用紙に必要な事項を記入し、提出してください。許可条件は、1.造林のための地ごしらえ、2.開こん準備、3.害虫駆除などとなっています。

9月の社会体育コーナー

- ・スポーツ少年団リーダー、指導者研修会 16日午後2~5時、市役所。
- ・奥越中学校駅伝大会 27日午前10時~南新在家⇨市民会館⇨中堀
- ・市民ハイキング 28日午前9時~午後3時、市内史跡めぐり

こんな看護婦さんは  
いませんか？

最近、看護婦・准看護婦さんの数が大変不足しています。そこでこれらの免許を持っていないが、現在就業していない方の実態調査を9月20日までに実施することになりました。

これに該当する方は、氏名・年令・住所と所持する免状の種類を大野保健所まで申し出してください。電話で結構です。電話番号は 6-2076

簡易保険の傷害特約を

交通事故や思わぬ災難などで死亡、負傷する人がふえているところから、郵便局の簡易保険では「傷害特約」を9月1日から取り扱うことになりました。

この傷害特約は、簡易保険の全種類にセットしてあり、てがるに加入していただけます。

傷害特約についての保険金と保険期間は、もともになる保険と同じで、掛金は、年令・職業に関係なく、保険金100万円につき、毎月200円上積みするだけです。保険金は、思わぬ事故で死亡したり、身体障害になったり、治療のため入院した時などに支払われます。危険がいっぱいの現代のそなえとして「傷害特約付簡易保険」をおすすめします。詳しくは大野郵便局保険課へお尋ねください。

ご健康を祈りたい。

富山・石川の八百台を見て早場米地帯の普及率はかなりよいのでないか。▼最近余剰米問題からすると米作りも悲観ムードに陥りやすいが、この際思い切って省力化を押し進め余剰米の活用化を図る必要がある。その点で田植機械の実現は農村人労働問題に明るい一石を投じたといえよう。▼しかし機械化が進み栽培技術も向上してきたが、それらを包含した農家経営のあり方に検討すべき余地が今後に残された大きな問題点といえよう。例えば小規模の農家が各戸ごとに高価な各種農業機械導入をしてはならない。いわゆる協同化(購入も)経営の目標をしっかりと立ち立てることが何よりの急務であろう。▼ついでにヒエ問題に触れねばならない。ヒエは七年間の発芽生命力を持っている。せっかくヒエ取りをしても後始末がまずいのである。燃やすか、穴に埋めるか皆で約束すべきである。道路や畦畔に放置している人が多

台風九号も幸い当地方にはたいした影響もなく過ぎたが、長期予報では今後決して油断は許されない。せつかく実った稲が無事刈り取られることを念じたい。▼ところで農業近代化もその基本となる基盤整備、開拓事業、用排水、道路整備等の構造改善事業が著しく進行してきた。特にそれと付随して農業機械の進歩発達は目ざましいものがある。中でもいままで難関視された田植機械も試作から実用段階に入った。本年福井県下で二百八十七台のうち勝山市の百五十台はトップで大野市は十六台と相当の開きがある。新潟・富山・石川の八百台を見て早場米地帯の普及率はかなりよいのでないか。▼最近余剰米問題からすると米作りも悲観ムードに陥りやすいが、この際思い切って省力化を押し進め余剰米の活用化を図る必要がある。その点で田植機械の実現は農村人労働問題に明るい一石を投じたといえよう。▼しかし機械化が進み栽培技術も向上してきたが、それらを包含した農家経営のあり方に検討すべき余地が今後に残された大きな問題点といえよう。例えば小規模の農家が各戸ごとに高価な各種農業機械導入をしてはならない。いわゆる協同化(購入も)経営の目標をしっかりと立ち立てることが何よりの急務であろう。▼ついでにヒエ問題に触れねばならない。ヒエは七年間の発芽生命力を持っている。せっかくヒエ取りをしても後始末がまずいのである。燃やすか、穴に埋めるか皆で約束すべきである。道路や畦畔に放置している人が多